

2003年 沖電気沼津地区環境レポート



目次

| | |
|-------------------|----|
| 沼津地区の概要 | 3 |
| 沼津地区の環境年表<要点> | 3 |
| 1. ご挨拶 | 4 |
| 2. 環境方針 | 5 |
| 3. 事業活動と環境への影響 | 5 |
| 4. 環境保護活動計画 | 6 |
| 5. 環境保護の取組み | 6 |
| 6. 環境負荷低減活動 | 7 |
| 7. 環境負荷低減活動<製品設計> | 8 |
| 8. 法遵守 | 9 |
| 9. 環境リスクマネジメント | 9 |
| 10. 環境教育及び訓練 | 10 |
| 11. 内部環境監査 | 10 |
| 12. 地域社会への貢献活動 | 11 |

沼津地区の概要

沼津地区は、沖電気工業(株)アイシステム本部（沼津生産工場）、静岡沖電気(株)並びに関連企業（沖物流工場沼津支所、沖デパロッポ沼津支店、G O F 他）から構成されています。

| | 沖電気工業（株） | 静岡沖電気（株） |
|--------------|---|------------------------|
| 1) 所在地 | 静岡県沼津市大諏訪 6 8 8 | 静岡県沼津市大諏訪 6 8 1 - 1 |
| 2) 工場設立 | 昭和 5 5 年 | 昭和 5 5 年 |
| 3) 従業員数 | 3 1 0 名 | 1 8 0 名 |
| 4) 敷地面積 | 1 6 4 0 0 m ² (合計) | |
| 5) 延床面積 | 1 6 0 0 0 m ² | 3 0 0 0 m ² |
| 6) 用途地域 | 工業地域 大気汚染防止法：指定区域外 騒音規制法：第四種区域 振動規制法：第二種区域 悪臭防止法：A 区域 | |
| 7) エネルギー管理指定 | 指定無し | |

沼津地区の環境年表 要点

| 沼津地区環境関連の事項 | | 環境関連法の動き | |
|-------------|--|----------|----------------|
| 1979 | 沼津工場1号館竣工 (静岡沖は操業中) | 1979 | |
| | | 1980 | |
| | | 1981 | |
| | | 1982 | |
| 1983 | メッキ工場廃止(静岡沖) | 1983 | |
| | | 1984 | |
| | | 1985 | |
| | | 1986 | |
| | | 1987 | |
| | | 1988 | モントリオール議定書発行 |
| | | 1989 | |
| | | 1990 | |
| | | 1991 | リサイクル法制定 |
| 1992 | フロン(洗浄用)全廃 | 1992 | |
| 1993 | 1-1-1トリクロロエタン(洗浄用)全廃 | 1993 | |
| 1994 | 東京工場集約 | 1994 | 容器包装リサイクル法制定 |
| | | 1995 | |
| 1996 | ゴミ焼却廃止 | 1996 | 環境アセスメント法制定 |
| 1997 | ISO9001認証取得 ジクロロメタン(洗浄用)全廃 | 1997 | 京都会議(COP3)開催 |
| 1998 | ISO14001認証取得 | 1998 | 家電リサイクル法制定 |
| 1999 | ハロン消火器全廃(二酸化炭素消火器へ) | 1999 | |
| | | 2000 | 循環型社会形成促進基本法制定 |
| 2001 | 重油ボイラー、地下重油タンク廃止(天然ガス化) 電動フォークリフト導入 | 2001 | P R T R 法施行 |
| 2002 | 廃棄物ゼロエミッション達成 | 2002 | |

ご挨拶

SSCディフェンスシステム本部
沼津生産センタ長

長谷川 徹



沖電気沼津地区環境レポートを発行するにあたり
当地区を代表しましてご挨拶申し上げます。

当地区は沖電気沼津地区と静岡沖電気(株)で構成されており、霊峰富士と駿河湾に囲まれた自然豊かな静岡県東部の沼津市に位置しております。
1942年より水中聴音機の製造を開始して以来、海洋計測機器、航空管制システム、道路管制システムや通信機器制御、水中音響機器などの生産拠点として操業してまいりました。

1998年環境マネジメントシステムの認証を取得し、今年で6年目の環境活動となりました。活動当初は、電力・廃棄物・紙などの削減を重点施策として着実に削減目標を達成してきましたが、循環型社会形成推進基本法が制定され、国によるリサイクル関連法、グリーン購入法などの法整備が強力に進められてきており、企業としても的確なる対応が迫られております。

このような背景をふまえ、2002年度の沼津地区環境活動では、継続施策である電力、紙などの削減をはじめ、従来埋立て処分をしていた廃棄物のリサイクルについて重点的に取り組み、廃棄物のゼロエミッションを達成しました。
ゼロエミッション化には徹底した分別廃棄が不可欠ですが、これを達成できたのは一重に全構成員の環境に対する意識の向上によるものと思います。
又、環境負荷低減製品の開発など、循環型社会の一役を担う活動はもとより、中伊豆の森林再生ボランティア、海岸清掃や施設の提供、沼津市環境関連イベント参加など地域への積極的環境活動も展開してまいりました。

国内ではPRTR法の施行とデータ開示、EUではRoHS指令による化学物質の規制強化等、各国で地球環境改善の取り組みが更に重要となってきております。今後も環境ISOの柱であります『継続的改善』を、沼津地区一丸となって推し進める所存であります。

この報告書によりまして当地区の環境活動に対する姿勢と取り組みを皆様方にご理解頂くとともに率直なるご意見を頂ければ幸いと存じます。

2 . 環境方針

沼津地区では以下の様な環境方針を策定し、この方針を基に環境活動に取り組んでいます。

基本理念

当地区は、富士と駿河湾を間近に、自然に恵まれた沼津の地にふさわしい「環境を愛する企業」として、人類共通の重要課題である「地球環境の改善」を、企業活動のあらゆる面において積極的に展開すると共に、一人一人がその継続的改善を推進することを基本理念とする。

行動指針

当地区の主要製品である通信・情報・計測機器を開発・設計 / 製造していることをふまえ沖電気工業㈱の環境基本方針に従い、以下の方針に基づき環境管理を行う。

1. 当地区の活動、製品、サービス(以下活動等という。)がかかわる環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善をはかる。
2. 環境関連の法律、規制及び協定、その他要求事項を遵守するとともに、自主管理基準を設定し、環境負荷の削減に努める。
3. 設計・開発段階に於いて、商品の流通、使用、廃棄の各段階における環境影響に配慮し商品の省エネルギー・リサイクル化などの環境負荷を少なくした製品設計を行う。
4. 電力などの省エネルギー化、省資源(紙、梱包材、化学物質等の使用削減)及び廃棄物の削減・リサイクル化を行う。
5. 緑化活動や施設の提供等を通じ、地域社会との積極的コミュニケーションを図る。
6. この環境方針は、当地区の関係・関連会社を含む全部門・全構成員に周知する。
7. 環境方針は、外部の要求に応じて公開する。

3 . 事業活動と環境への影響

沼津地区では、毎年事業活動が環境に与える影響を評価し、結果を環境改善活動に反映しています。2002年度は下記項目が環境に与える影響が大きいとして、上位にランクされました

事業活動が環境に与える影響

| 項 目 | 環境への影響 |
|----------------|--------|
| 廃棄物(廃プラ・紙等)の廃棄 | 処分場不足 |
| 電力エネルギーの使用 | 大気汚染 |
| 鉛はんだの使用 | 土壌汚染 |
| 化学物質の使用(接着剤等) | 各種汚染 |
| 北°-用等紙の使用 | 資源の枯渇 |

4 . 環境保護活動計画

環境方針に定めた事項を具体的に実践し、事業活動に伴う環境負荷を低減するため、下記目標を定め沼津地区一丸となって活動しています。

活動目標と2002年度実績

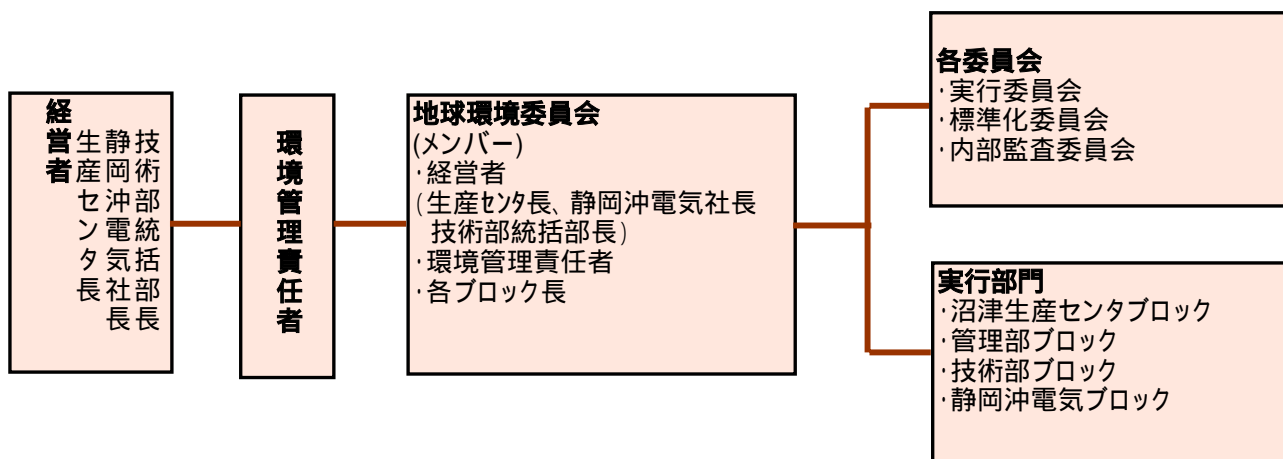
| 区分 | 目標(例) | 2002年度活動実績(例) |
|-----------------------|---|---|
| 廃棄物対策 | 産業廃棄物の「ゼロエミッション」を2002年度中に達成する <ゼロエミッション=リサイクル率99%以上> | ゼロエミッションを達成 (2002年10月から、6ヶ月連続 99%以上を確保) |
| 省エネルギー化 (CO2・資源削減) | 電力使用量(照明・設備他)を98年度比で12%以上(55万Kwh以上)削減する | 31%(147万Kwh)削減 |
| 省資源化 | 紙(北用紙等)の使用量を98年度比で20%以上(A4サイズ 83万枚)削減する | 32%削減(A4で140万枚) |
| | 有害化学物質含有の材料(接着剤)の代替品選定をする | 代替品選定済み (次年度代替え実施) |
| 環境負荷を少なくした製品開発 | 新製品の設計において、積極的に実施する 小型軽量化、省電力化、有害物質不使用 リサイクル化、分解容易化 | 適用製品、98年度累積で 31機種 |

5 . 環境保護の取組み

環境マネジメントシステム構築 (ISO14001の認証取得)

環境に関する方針などを自ら設定し、この達成に向けて取り組むため、工場や事業所での体制手順などを確立し、実行・管理することを環境マネジメントシステムといいます。

沼津地区で構築した環境マネジメントシステムが、国際規格のISO14001の要求事項に適合することが認められ、1998年3月に株式会社日本環境認証機構(JACO)殿の認証を取得しました。



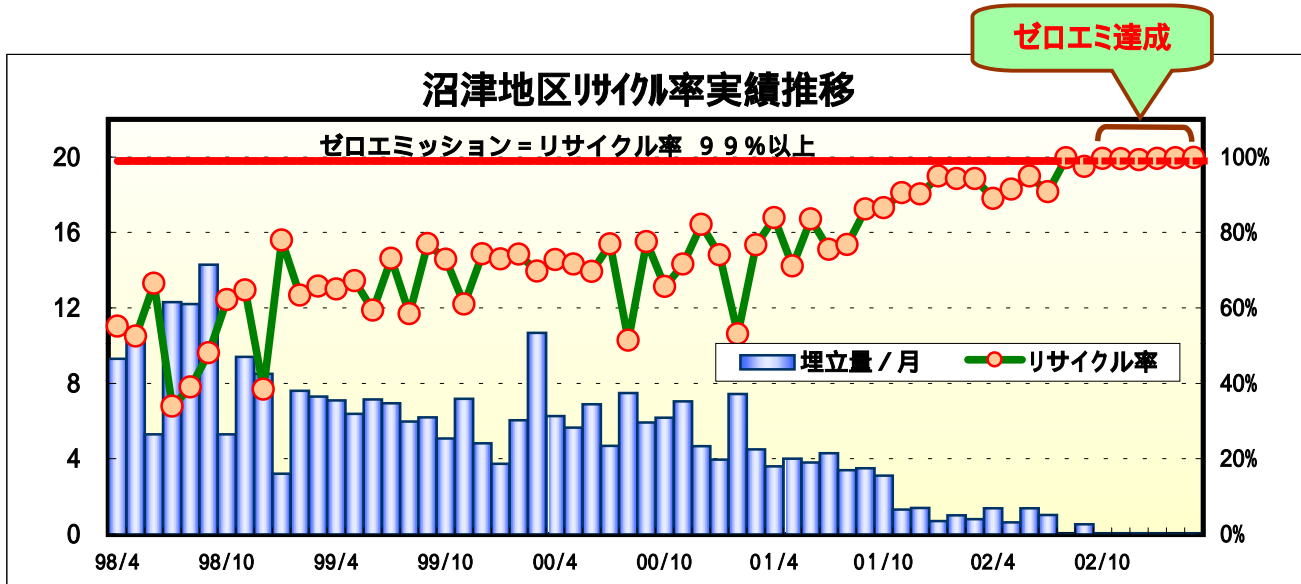
6 . 環境負荷低減活動

6-1 廃棄物の最終処分（埋立処分）ゼロ化（ゼロエミッション化：リサイクル率99%以上）

沼津地区から発生する廃棄物全ての再資源化に取り組めました。

2002年度は埋立処分されている廃棄物の、徹底したリサイクルに取り組み、6ヶ月連続してリサイクル率99%以上を確保して『**廃棄物のゼロエミッション化**』を達成しました。

ゼロエミッション達成のカギは、最適なリサイクル方法・処理ルートの開拓は基より、従業員一人一人が徹底した分別廃棄に協力してくれた事によります。



リサイクル化例

以下例の様に合計**20品目**に分類してリサイクル化を行っています。

| 区分 | 廃棄物名称 | 再資源化用途 |
|-----|----------------|----------|
| 紙類 | コピー用紙類 | 再生紙 |
| | カタログ、雑誌類 | トイレトペーパー |
| | 他紙屑 | 燃料 |
| 廃プラ | チップ部品リール | 再使用 |
| | トナーカートリッジ類 | 再使用 |
| | ポリエチレン(袋、シート他) | ポリエチレン材料 |
| | 発泡スチロール | スチロール材料 |
| | ポリエチ、発泡スチロール以外 | 燃料 |
| | ゴム類 | 道路舗装材 |
| | ペットボトル | |

職場分別廃棄例

以下は**廃プラ分別の例**、これ以外にもルールに従い左記種類に分別しています。



6-2 廃棄物の適正処理

廃棄物の処理が適正にされているか定期的(毎年1回)に廃棄物処理委託業者を訪問し現地確認調査表によりチェックしています。

2002年度も各業者異常ないことを確認しました。

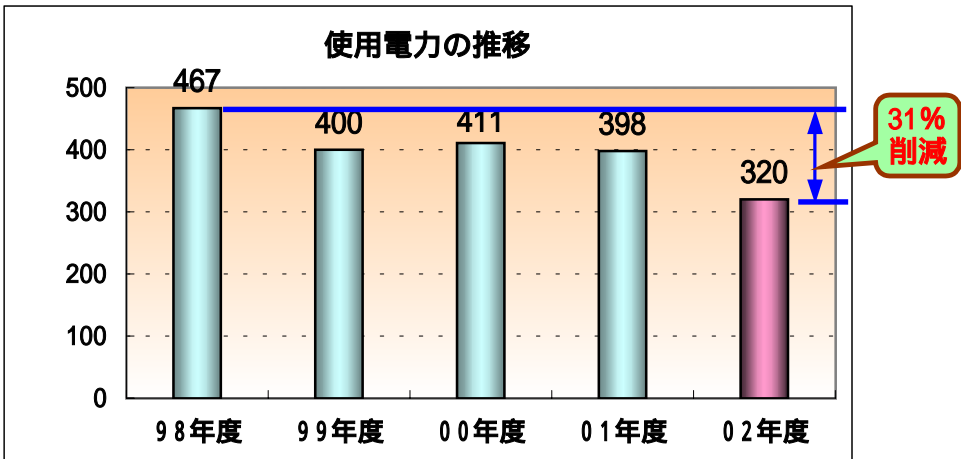


廃油処理委託業者の調査

6-3 省エネルギーの取組み

地球温暖化防止に貢献するため省エネルギーに取り組んでいます。
 エネルギーの全体を占める電力の使用削減を行い、1998年度比で、31%の削減を行いました。

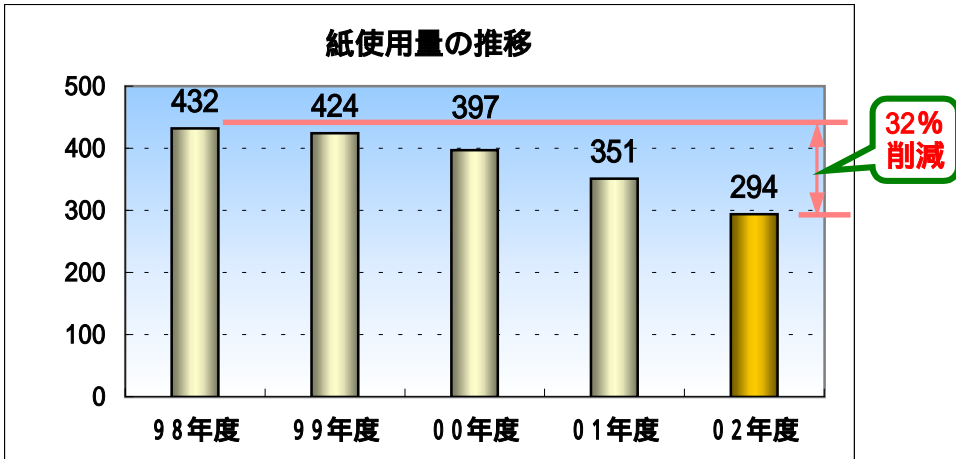
- 主な取組みは次の通りです。
- * 昼休み・退社時の消灯
不使用箇所間引き
 - * OA機器節電
(PC、プリンター、サーバ他)
 - * 空調温度の厳守
(夏28、冬20)
 - * 設備立ち上げ時間の見直し
 - * 不使用設備の電源OFF



6-4 コピー紙など紙の使用量削減

森林資源保護の一環として紙類の使用削減に取り組んでいます。

- 主な取組みは次の通りです。
- * 両面コピー、裏紙使用
 - * 伝票関係の電子化
 - * 配布資料の電子化
 - * 会議資料の電子化



7. 環境負荷低減活動 < 製品設計 >

環境に優しい製品の開発

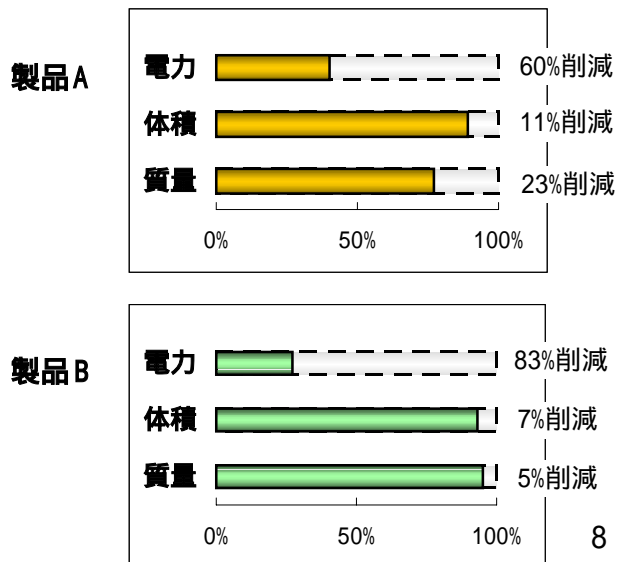
製品は使用時には電力を消費し、使用済み後は廃棄物になるなど、環境へ大きな影響を与えます。環境への負荷の少ない製品を提供するためには、設計段階において、省エネ、省資源、リサイクル性など製品のライフサイクル全体にわたる環境負荷を評価する必要があります。

このため、沼津地区では製品設計段階に於ける環境影響度の評価方法を制定し、新機種の設計に積極的に適用する事により、環境負荷の少ない製品を提供しております。

又 環境に優しい製品設計と共に、音波応用技術を使用した環境を守る製品の開発・製造も行っております。

2002年度環境負荷を少なくした製品設計例

< 削減率は、従来機種との比較 >



8 . 法遵守

8-1 環境法情報の入手と規定の改正

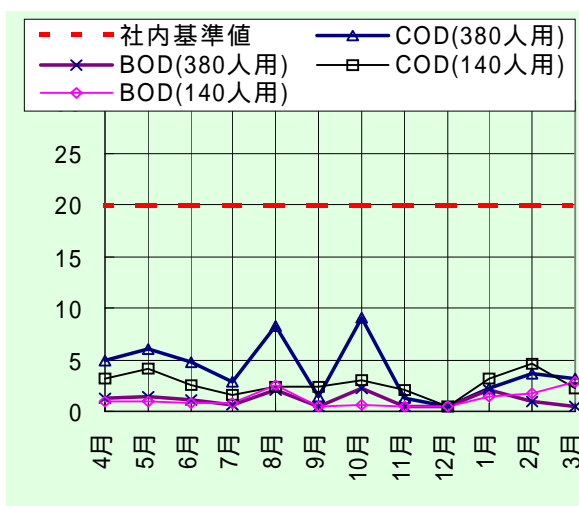
法遵守のためには、法律の制定改訂、廃止などの情報をタイムリーに入手し、関連規定の改正及び従業員への周知教育を行っています。

2002年度は沼津地区に関連する法規として、下記環境関連法規改定の対応をしました。

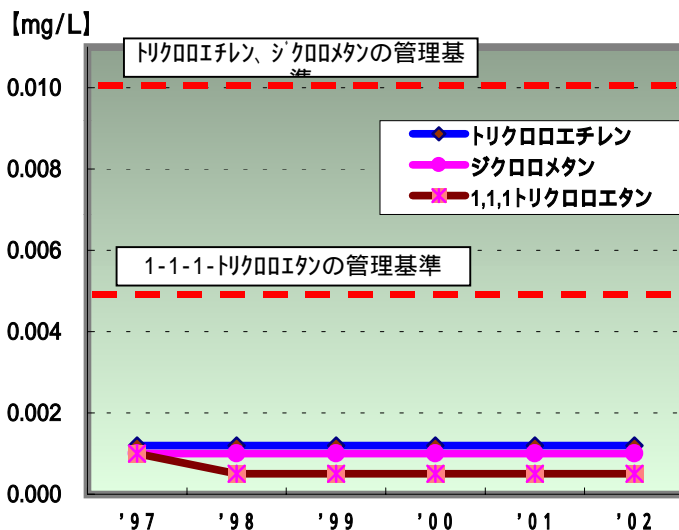
| 改訂区分 | 登録改訂した法令等の名称 | 改訂した要求事項の概略 |
|------|--------------|--|
| 追加 | 土壤汚染対策法 | <p>1) 有害物質使用特定施設の事業場の廃止時に、その土地の所有者等は、土地の土壤汚染の状況について、指定調査機関に調査させて、その結果を都道府県知事に報告しなければならない。</p> <p>2) 都道府県知事は、土壤汚染により人の健康被害が生ずるおそれがある土地であると認めるときは、その土地の所有者等に対し、指定調査機関に汚染状況を調査させ、その結果を報告すべきことを命ずることができる</p> |

8-2 環境測定 自主管理基準の設定と管理

環境関連の法規遵守に当たり、法規制値より厳しい自主管理値を定め、継続的に管理しています(以下例)



工場排水分析



土壌分析

9 . 環境リスクマネジメント

沼津地区には、一部の暖房用と給湯用に重油ボイラーを使用していました。燃料である重油のタンクは敷地内の地下タンクとしていました。しかし、地下タンクは環境リスクを考えると、地震などでタンクが破損して地下に重油が流出した場合多大な環境影響を与えます。

このため、2001年5月に重油を一切廃止して、環境に優しいエネルギーである、天然ガスボイラーに切り替えました。

重油ボイラー 旧



重油地下タンク 旧 (5,000ℓ)



天然ガスボイラー 新設



10 . 環境教育及び訓練

一般教育

全従業員を対象に、

- ・環境方針の周知徹底
- ・環境マネジメントシステムの重要性
- ・緊急事態への備え
に関する教育を実施しています

緊急時の訓練

作業の従事者を対象に、作業に於ける緊急事態を想定（運搬時の薬品こぼし他）、その未然防止の手順・発生した場合の処置を手順書として作成。これに基づいた実施訓練を定期的実施しております。



想定訓練 薬品こぼしの処置

危険物倉庫への出し入れ時、薬品をこぼしたと想定し、一斗缶に水を入れて転倒させ、吸収材にて緊急処置の訓練を実施。

資格取得教育

(1)法令等で定められた資格者を養成しています

例：（危険物取扱者）

（有機溶剤作業主任者）

（特別管理産業廃棄物管理責任者）他

(2)内部環境監査員を養成しています

内部環境監査員 計30名

11 . 内部環境監査

環境マネジメントシステムで定めた目標が達成されているか、あるいは法遵守がされているかチェックするため、年1回、内部環境監査を実施しています。

2002年度の内部環境監査では計12件の指摘を抽出し、全てを改善しました



内部監査風景（活動状況報告）

12. 地域社会への貢献活動

地域環境活動への積極的参加として、地区自治会の一斉清掃に合わせ、会社周辺道路の側溝清掃・雑草刈り
駐車場清掃・雑草刈り 及び、海岸清掃などを定期的に行っています。

又、中伊豆森林再生（ボランティア活動）、沼津市主催環境イベントへの積極的な参加活動も行っています。



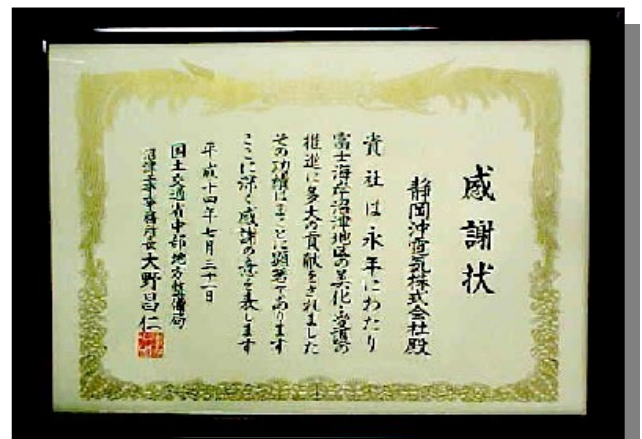
会社周辺清掃 < 5月 >



中伊豆森林再生 < 10月 >



海岸清掃 < 7月 >



静岡沖電気(株)では、1995より続けている海岸
清掃に対し、国土交通省より感謝状が送られました
(2002年7月表彰)



沼津市主催：市内企業の環境活動紹介へ出展
(沼津キラメッセ:フリーマーケットの一面)

問い合わせ先

沖電気工業株式会社
ディフェンシステム本部(沼津地区)
品質管理部 品質管理第二チーム

410-0873
静岡県沼津市大諏訪 6 8 8
TEL : (直)0559-26-6330
FAX : 0559-26-6420
e-mail : watanabe768@oki.com